

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		医療心理科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名		心理特論Ⅹ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年		3年		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員		友居 和美	実務経験と その関連資 格				
《授業科目における学習内容》							
生命倫理は、欧米を中心に1970年代に体系立てられた学際的学問で、従来のパターナリズム(独善的医療行為やその態度)に対する反省から、「インフォームド・コンセント」や「患者の自己決定権」などの確立を求める世界の潮流から学問的に確立された。本講義では医療と福祉の現場で起こる葛藤の原因となりうる問題を取り上げながら、学生各自の考えを深めてほしい。							
《成績評価の方法と基準》							
試験70%、出席20%、平常点10%とします。その他、小テストを随時実施し、点数を評価に加味します。							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
授業内容に応じてDVD等の視聴覚教材、PCのパワーポイントを使用します。 参考図書は随時、講義中に紹介します。							
《授業外における学習方法》							
指定したテーマについて、授業内で紹介した以外のニュースや新聞記事を検索し、より多角的に問題を理解する。 問題について自分の考えをまとめる。							
《履修に当たっての留意点》							
授業のテーマは将来の職業選択のみならず、自分自身の現在の生活や将来設計とも密接に関係していることを認識し、授業だけでなく日常生活において関心を持つよう心掛けてください。							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	生命倫理で扱うテーマを列挙することができる。 テーマにそって自ら考え、他者と話し合うことができる。		配布資料等	テキストの対象箇所を読んでおくこと、テーマについてのニュースや新聞記事を検索し、内容を把握すること	
		各コマにおける授業予定	臨床・医学研究の倫理確立。				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	生命倫理学の成立史、生命倫理4原則と生命倫理宣言について理解を深めて解説することができる。		配布資料等	テキストの対象箇所を読んでおくこと、テーマについてのニュースや新聞記事を検索し、内容を把握すること	
		各コマにおける授業予定	生命倫理学の成立、生命倫理4原則、生命倫理宣言やインフォームドコンセント。				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	患者・要介護者の権利について事例を通じて学び論じることができる		配布資料等	テキストの対象箇所を読んでおくこと、テーマについてのニュースや新聞記事を検索し、内容を把握すること	
		各コマにおける授業予定	患者・要介護者の自己決定権。				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	感染症と患者の権利について事例を通じて学び論じることができる		配布資料等	テキストの対象箇所を読んでおくこと、テーマについてのニュースや新聞記事を検索し、内容を把握すること	
		各コマにおける授業予定	新型コロナ感染拡大が与えた影響。感染症における人権問題。有限の医療資源の配分。				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	死生観について学び論じることができる		配布資料等	テキストの対象箇所を読んでおくこと、テーマについてのニュースや新聞記事を検索し、内容を把握すること	
		各コマにおける授業予定	死生観とは何か。なぜ、死について考える必要があるのか。				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	人生の最終段階における事前の意思決定について学び論じることができる	配布資料等	テキストの対象箇所を読んでおくこと、テーマについてのニュースや新聞記事を検索し、内容を把握すること
		各コマにおける授業予定	事前指示とアドバンス・ケア・プランニング。緩和ケア。ホスピス。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	看取りやグリーフケアについて学び論じることができる	配布資料等	テキストの対象箇所を読んでおくこと、テーマについてのニュースや新聞記事を検索し、内容を把握すること
		各コマにおける授業予定	看取り、グリーフケア。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	安楽死・尊厳死について学び論じることができる	配布資料等	テキストの対象箇所を読んでおくこと、テーマについてのニュースや新聞記事を検索し、内容を把握すること
		各コマにおける授業予定	安楽死・尊厳死の現状と課題。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	自分自身の死生観について述べることができる	配布資料等	テキストの対象箇所を読んでおくこと、テーマについてのニュースや新聞記事を検索し、内容を把握すること
		各コマにおける授業予定	死生観の形成。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳死と臓器移植に関する基礎知識を理解することができる	配布資料等	テキストの対象箇所を読んでおくこと、テーマについてのニュースや新聞記事を検索し、内容を把握すること
		各コマにおける授業予定	脳死と臓器移植の現状と課題。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	出生前の診断について基礎知識を理解することができる	配布資料等	テキストの対象箇所を読んでおくこと、テーマについてのニュースや新聞記事を検索し、内容を把握すること
		各コマにおける授業予定	着床前診断と選別、出生前診断と選択的堕胎などに関わる倫理。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	生殖補助医療について基礎知識を理解することができる	配布資料等	テキストの対象箇所を読んでおくこと、テーマについてのニュースや新聞記事を検索し、内容を把握すること
		各コマにおける授業予定	生殖補助医療(人工授精、体外受精、顕微授精)の現状と課題。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	多様な性について理解する	配布資料等	テキストの対象箇所を読んでおくこと、テーマについてのニュースや新聞記事を検索し、内容を把握すること
		各コマにおける授業予定	性自認、性的指向、LGBTなど性の多様性。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害者・高齢者の性について理解する	配布資料等	テキストの対象箇所を読んでおくこと、テーマについてのニュースや新聞記事を検索し、内容を把握すること
		各コマにおける授業予定	障害者と高齢者の性。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	生命倫理に関する最近の時事問題について関心を持ち、論じることができる	配布資料等	テキストの対象箇所を読んでおくこと、テーマについてのニュースや新聞記事を検索し、内容を把握すること
		各コマにおける授業予定	自殺など時事問題。		